

The cover features a large, stylized sun with rays in shades of blue and purple. The sun's face is a dark blue circle containing the text 'SJ Group Report' and the period '2006.4.1 - 2007.3.31'. To the right of the sun's face, the year '2007' is written in a large, white, serif font.

SJ Group Report
2006.4.1 - 2007.3.31

2007

C o n t e n t s

1	株主の皆様へ
2	連結業績・財産等の推移
3	セグメントの状況①（事業種類別）
4	セグメントの状況②（所在地別）
5	連結財務諸表
9	会社情報
10	株式の状況
11	株主メモ／ホームページ紹介

株主の皆様へ



平素は格別のご支援とご高配を賜り、ありがたく御礼申し上げます。

SJグループは、持株会社体制に移行してから、この4月で3年目に入りました。

これまで、当社は総合的な情報サービス事業者への転換と競争力の強化による顧客満足の上を目指し、グループの拡大を図ってきましたが、昨年度においては、グループ経営の深度を深めるいくつかの施策を実施してきました。

2006年4月には、子会社2社の共同新設分割により㈱S Jアルピーヌを設立し、両社の営業の全てを承継させました。

統合から1年を経過したところですが、人事制度の一本化・重複機能の統一によるコスト削減等の効果が徐々に発現しつつあり、今後さらなる効果が現れてくるものと確信しています。

一方、事業会社のポートフォリオの見直しも進めました。

2007年3月に、システム・インフラ構築を主業務とするアルファテック・ソリューションズ㈱を第三者に譲渡し、事業年度が替わった2007年5月には、中国のメディア事業を営む福建十方文化传播有限公司も第三者に譲渡しました。

これにより、グループ合算売上は減少しますが、社内の経営資源を効率的に再配分することが出来るようになったものと考えています。

情報サービス業の全般的な環境といたしましては、日本国内では引き続き金融業界を中心に堅調なIT投資が見込まれ、安定的な市場の拡大が見込まれており、一方、中国については、リスクはあるものの引き続き高い成長率が期待されています。

当社グループといたしましては、事業会社のポートフォリオ見直しによる経営資源の再配分により、当社の特色を活かしつつ、新たな成長路線に乗せるため、全社を挙げて努力してまいります。

また、昨今、企業の内部管理・内部統制体制の重要性が指摘されていますが、当社におきましても、企業規模の拡大に見合う堅固な内部管理体制の構築にも注力したいと考えています。

引き続き、当社グループをご支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。

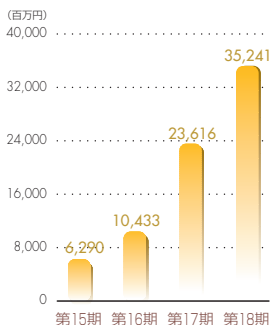
2007年6月

代表取締役社長

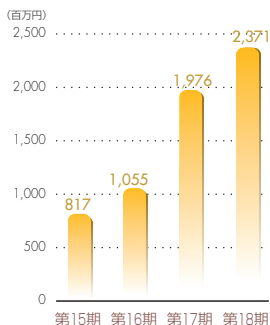
李 聖

連結業績・財産等の推移

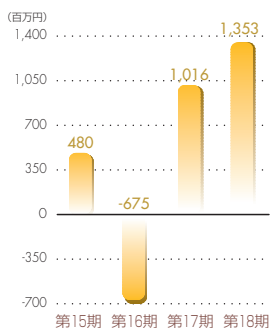
売上高



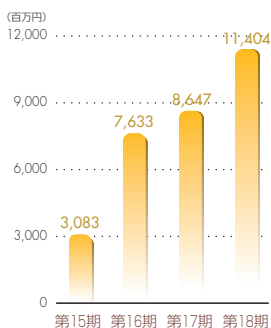
経常利益



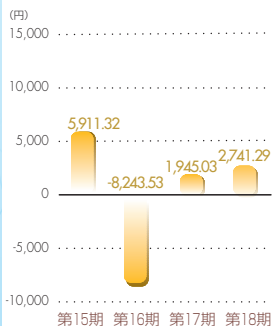
当期純利益



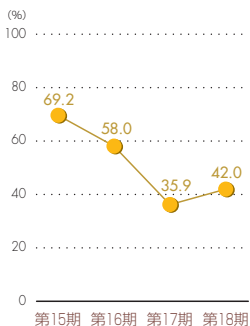
純資産



1株当たり当期純利益



自己資本比率



注：1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数に基づき算出しています。また、株式分割の影響は考慮していません。第16期は連結調整勘定（のれん代）の一括償却を実施したことにより、当期純損失となっています。

セグメントの状況①－事業種類別

当社グループは、システム開発、ソフトウェア製品、情報関連商品からなる「情報サービス」事業及び「その他」事業を展開しています。

● 「情報サービス」事業

当連結会計年度の「情報サービス」事業は、作業支援型のプロジェクトと中国における日本向けシステム開発が順調に伸び、またアルファテック・ソリューションズ株式会社の売上が当連結会計年度はフルに連結された結果、売上高は32,563百万円（前連結会計年度比42.8%増）、営業利益は2,929百万円（前連結会計年度比44.3%増）となりました。

● 「その他」事業

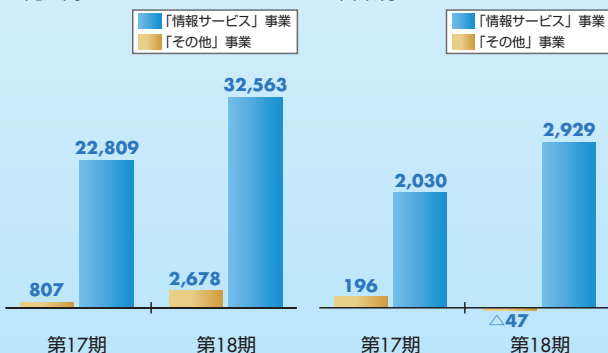
当連結会計年度の「その他」事業は、金融関連商品製造販売が好調に推移した結果、売上高は2,678百万円（前連結会計年度比231.9%増）となりましたが、当社グループ化後の経営管理コスト及び今後の事業展開を見据えた採用コストが膨らんだこと等のため、営業損失は47百万円（前連結会計年度比124.4%減）となりました。

● 売上高

(単位：百万円)

● 営業利益

(単位：百万円)



注：事業種類別の営業利益には、持株会社に係る費用等の全社の項目に該当する営業費用が含まれていないため、各セグメントの営業利益の合計と連結財務諸表に記載の営業利益の数値は異なります。

セグメントの状況②－所在地別

所在地別セグメントの業績は、次のとおりです。

●日本

日本においては、好調なIT投資の恩恵を受け、「情報サービス」事業は好調に推移し、売上高は29,224百万円（前連結会計年度比42.2%増）となりましたが、のれんの償却額の増加及び管理体制の強化による販売費増等の要因により営業利益は1,682百万円（前連結会計年度比2.3%減）となりました。

●中国

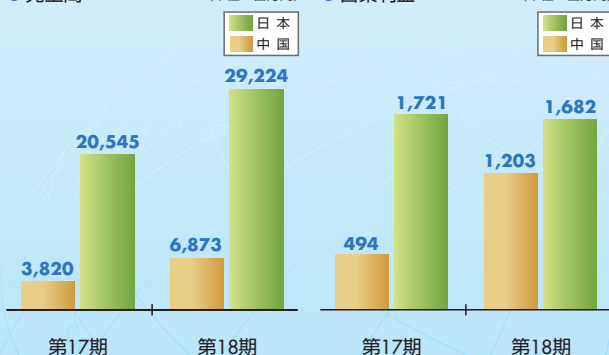
中国においては、従来からの「情報サービス」事業が市場の拡大もあり順調に推移したことに加え、前期より新たに加わった金融関連商品製造販売等の「その他」事業も順調に拡大したことにより、売上高は6,873百万円（前連結会計年度比79.9%増）となりました。また、利益率の高い日本向けシステム開発案件の増加等により、営業利益は1,203百万円（前連結会計年度比143.4%増）となりました。

●売上高

(単位：百万円)

●営業利益

(単位：百万円)



注：所在地別の売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれており、また同営業利益には、持株会社に係る費用等の全社の項目に該当する営業費用が含まれておらず、また、セグメント間の内部営業利益の消去がおこなわれていません。そのため、各セグメントの売上高と営業利益のそれぞれの合計と連結財務諸表に記載の売上高と営業利益の数値は異なります。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第18期 (2007年3月31日現在)	第17期 (2006年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	17,787	16,881
現金及び預金	4,757	5,380
受取手形及び売掛金	6,798	8,249
有価証券	11	11
たな卸資産	756	970
未収入金	2,111	—
仮払金	1,704	—
繰延税金資産	193	415
その他	1,594	1,962
貸倒引当金	△140	△109
固定資産	5,386	7,226
有形固定資産	715	900
建物及び構築物	228	393
機械装置及び運搬具	88	40
工具器具備品	281	230
土地	116	235
建設仮勘定	0	—
無形固定資産	1,758	2,747
連結調整勘定	—	2,537
のれん	1,648	—
その他	110	209
投資その他の資産	2,912	3,579
投資有価証券	685	872
出資金	40	39
繰延税金資産	367	338
敷金保証金	1,366	1,771
その他	455	568
貸倒引当金	△3	△9
繰延資産	—	5
新株発行費	—	5
資産合計	23,174	24,113

注：記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

POINT

- ・受取手形及び売掛金の減少は、主にアルファテック・ソリューションズ株式会社が連結の範囲から外れたことによるものです。
- ・未収入金の増加は、アルファテック・ソリューションズ・ホールディングス株式会社の株式譲渡の対価が期末に計上されたことによるものです。
- ・仮払金の増加は、中国での事業拡大を目的としたものです。

(単位:百万円)

科 目	第18期 (2007年3月31日現在)	第17期 (2006年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	9,445	11,020
支払手形及び買掛金	2,205	4,773
短期借入金	4,244	2,422
1年以内返済予定の長期借入金	689	659
1年以内償還予定の社債	—	200
未払法人税等	835	623
繰延税金負債	—	11
賞与引当金	252	553
その他	1,217	1,776
固定負債	2,323	3,588
長期借入金	1,991	2,149
退職給付引当金	332	1,260
役員退職慰労引当金	—	176
その他	—	2
負債合計	11,769	14,609
少数株主持分	—	856
資本の部		
資本金	—	1,001
資本剰余金	—	6,517
利益剰余金	—	1,125
その他有価証券評価差額金	—	40
為替換算調整勘定	—	80
自己株式	—	△117
資本合計	—	8,647
負債、少数株主持分及び資本合計	—	24,113
純資産の部		
株主資本	9,490	—
資本金	1,023	—
資本剰余金	6,091	—
利益剰余金	2,493	—
自己株式	△118	—
評価・換算差額等	236	—
その他有価証券評価差額金	11	—
為替換算調整勘定	225	—
新株予約権	10	—
少数株主持分	1,667	—
純資産合計	11,404	—
負債純資産合計	23,174	—

POINT

- ・支払手形及び買掛金の減少は、主にアルファテック・ソリューションズ株式会社が連結の範囲から外れたことによるものです。
- ・短期借入金の増加は、仮払金の資金を銀行からの借入れにて調達したことによるものです。
- ・退職給付引当金の減少は、アルファテック・ソリューションズ株式会社が連結の範囲から外れたことに伴う従業員数の減少によるものです。

連結財務諸表

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第18期 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)	第17期 (2005年4月1日から 2006年3月31日まで)
売上高	35,241	23,616
売上原価	27,480	18,524
売上総利益	7,761	5,091
販売費及び一般管理費	5,375	3,108
営業利益	2,386	1,982
営業外収益	217	167
営業外費用	232	173
経常利益	2,371	1,976
特別利益	670	146
特別損失	356	241
税金等調整前当期純利益	2,685	1,881
法人税、住民税及び事業税	995	800
法人税等調整額	131	△52
少数株主利益	206	118
当期純利益	1,353	1,016

注：記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

POINT

- ・売上高の増加は、作業支援型の開発プロジェクト及び中国における日本向けシステム開発の受注が順調に伸びたことによるものです。
- ・営業利益及び当期純利益の増加は、中国におけるシステム開発事業が好調であったこと及びシステム開発のコストコントロールを進めたことによるものです。

■ 連結株主資本等変動計算書 第18期(2006年4月1日から2007年3月31日まで)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2006年3月31日残高	1,001	6,517	1,125	△117	8,525
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	22	22			44
剰余金の配当			△246		△246
役員賞与			△62		△62
当期純利益			1,353		1,353
連結子会社の持分の 変動による減少額			△77		△77
連結子会社の減少 による増減額		△447	402		△44
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	22	△425	1,368	△0	965
2007年3月31日残高	1,023	6,091	2,493	△118	9,490

注：記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

POINT

- ・第17期の利益配当金として1株当たり500円を支払いました。なお、第18期の期

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	第18期 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)	第17期 (2005年4月1日から 2006年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 985	1,014
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,536	△ 2,967
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,908	3,189
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	58
現金及び現金同等物の増加(△減少)額	△ 562	1,294
現金及び現金同等物の期首残高	5,331	4,037
現金及び現金同等物の期末残高	4,768	5,331

注:記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

POINT

- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益26億85百万円等の増加要因があったものの、売上債権の増加額13億34百万円、仮払金の増加額13億22百万円等の減少要因が上回ったものです。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、アルファテック・ソリューションズ株式会社の譲渡に伴う子会社株式の売却による13億50百万円の減少、無形固定資産の取得による支出566百万円等があったことによるものです。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金18億51百万円、長期借入金6億円の増加等によるものです。

(単位:百万円)

その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等		新株予約権	少数株主 持分	純資産合計
	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
40	80	121	—	856	9,504
					44
					△246
					△62
					1,353
					△77
					△44
					△0
△29	144	115	10	810	935
△29	144	115	10	810	1,900
11	225	236	10	1,667	11,404

未配当金は1株当たり800円となります。

会社情報

名 称	株式会社SJホールディングス [SJ Holdings Inc.]
所 在 地	〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番8号 (品川シーサイドイーストタワー)
設 立	1989年7月14日 (純粋持株会社化・商号変更 2005年4月1日)
事 業 内 容	SJグループ・情報サービス事業の管理運営
資 本 金	1,023,251,164円 (2007年3月31日現在)
社 員 数	2,529名 (2007年3月31日現在 連結ベース)

主要事業子会社 株式会社サン・ジャパン
株式会社SJアルピーヌ
聯迪恒星(南京)信息系統有限公司
安徽科大恒星電子商務技術有限公司
福建聯迪商用設備有限公司

役 員	代表取締役社長	李 堅
	取締役副社長	琴井 啓文
	常務取締役	周 誠
	取締役	辻川 幸二
	取締役	高瀬 美佳子
	取締役	平田 昇
	取締役	實川 勝夫
	取締役	木村 裕
	取締役	齋藤 潔
	監査役	牧田 啓
	監査役	増田 輝夫
	監査役	宮本 進
	監査役	渡邊 許隆

株式の状況

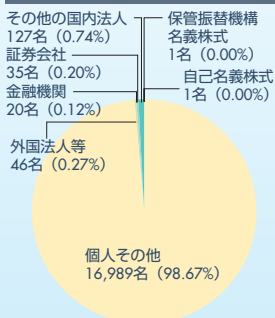
概要 (2007年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数	1,410,000株
■ 発行済株式総数	497,479.45株
■ 株主数	17,219名

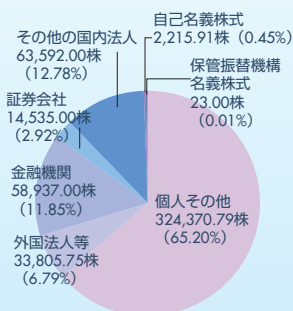
注：株主数のうち、端株のみを所有する株主の数は、78名です。

所有者別株式分布 (2007年3月31日現在)

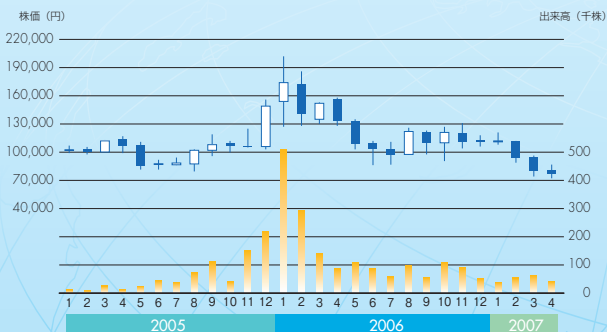
株主数：合計 17,219名



株式数：合計 497,479.45株



株価／出来高の推移 (2007年4月30日現在)



注：2005年5月20日付で1株を5株に株式分割しています。本グラフに記載の株価は、当該株式分割の影響を遡及調整したものです。

株 主 メ モ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主 確定日	毎年3月31日 (中間配当を実施するときは9月30日)
定時株主総会 基準日	毎年6月 3月31日 その他必要ある場合には、あらかじめ公告をして定めることといたします。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先 電話お問合せ	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
公告掲載方法	電子公告により、当社ホームページ (URL : http://www.sjholdings.co.jp) に掲載いたします。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

ホームページ紹介



SJホールディングスのホームページでは、株主・投資家の方々をはじめ、広く皆様にご利用いただけるよう、「正確」かつ「タイムリー」で「わかりやすい」情報開示を心がけ、情報発信をおこなっています。

▲ URL : <http://www.sjholdings.co.jp>